

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)



平成25年1月29日

上場取引所 東 大名

上場会社名 富士フイルムホールディングス株式会社

コード番号 4901 URL <http://www.fujifilmholdings.com/>

代表者 代表取締役社長 中嶋 成博

問合せ先責任者 経営企画部 IR室長 杉山 健 TEL (03)6271-1111

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税金等調整前 四半期純利益		当社株主帰属 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,611,172	△ 0.5	65,378	△ 23.6	62,829	8.9	28,848	21.7
24年3月期第3四半期	1,618,513	△ 2.0	85,566	△ 30.1	57,685	△ 47.1	23,696	△ 59.4

(注) 四半期包括利益(損失) 25年3月期第3四半期 91,782 百万円 (- %) 24年3月期第3四半期 △ 11,720 百万円 (- %)

	1株当たり当社株主 帰属四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当社株主 帰属四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	59 89	57 63
24年3月期第3四半期	49 19	47 50

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,982,684	1,934,719	1,788,191	60.0
24年3月期	2,739,665	1,856,484	1,721,769	62.8

(注) 資本合計(純資産)は、P.8の連結貸借対照表の純資産合計を読み替えております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	17 50	-	17 50	35 00
25年3月期	-	20 00	-		
25年3月期(予想)				20 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税金等調整前 当期純利益		当社株主帰属 当期純利益		1株当たり当社 株主帰属 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,210,000	0.7	110,000	△ 2.6	110,000	23.3	50,000	14.2	103 80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	514,625,728 株	24年3月期	514,625,728 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	32,914,880 株	24年3月期	32,920,287 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	481,708,443 株	24年3月期3Q	481,696,171 株
----------	---------------	----------	---------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.6「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

[目次]

1.	当四半期決算に関する定性的情報		
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 5
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項		
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
3.	継続企業の前提に関する重要事象等の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
4.	連結財務諸表等		
(1)	四半期連結貸借対照表	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 7
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期包括利益計算書 （四半期連結損益計算書）		
	【第3四半期連結累計期間】	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 9
	【第3四半期連結会計期間（3ヶ月）】	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 10
	（四半期連結包括利益計算書）		
	【第3四半期連結累計期間】	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 11
	【第3四半期連結会計期間（3ヶ月）】	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 11
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 12
(4)	継続企業の前提に関する注記	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 13
(5)	セグメント情報		
	1) 第3四半期連結累計期間	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 13
	2) 第3四半期連結会計期間（3ヶ月）	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 15
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：億円)

	平成25年3月期 第3四半期累計		平成24年3月期 第3四半期累計		増減額	増減率
国内売上高	45.0%	7,256	45.1%	7,297	△41	△0.6%
海外売上高	55.0%	8,856	54.9%	8,888	△32	△0.4%
売上高	100.0%	16,112	100.0%	16,185	△73	△0.5%
営業利益	4.1%	654	5.3%	856	△202	△23.6%
営業外収益及び費用	△0.2%	△26	△1.7%	△279	253	-
税金等調整前四半期純利益	3.9%	628	3.6%	577	51	8.9%
当社株主帰属四半期純利益	1.8%	288	1.5%	237	51	21.7%
為替レート (円/米\$)		80		79	1	
為替レート (円/Euro)		102		110	△8	

平成25年3月期第3四半期累計期間(平成24年4月1日～12月31日)の世界経済を概観すると、欧州では債務問題の長期化により景気低迷が続いています。米国景気は、緩やかな回復基調を維持していますが、回復基調は弱いものとなっています。アジアをはじめとする新興国地域でも、輸出の低迷を受けて経済成長のペースは減速しており、特に中国経済減速の長期化が懸念されます。日本においては、東日本大震災からの復興需要は続くものの、海外経済の減速による輸出環境の悪化などを背景に、景気は弱含みで推移しています。

当社グループの事業環境は、欧州の景気低迷による需要減少や、為替の対ユーロ円高影響などを受けて、厳しいものとなりました。

このような状況の中でも当社グループは、平成22年3月期から2年をかけた聖域なき構造改革によって構築した強靱な企業体質を基盤に、平成24年3月期には、中期経営計画「VISION80」(平成25年3月期～平成26年3月期)を策定し、世界市場を舞台に成長戦略を強力に推進しています。成長性が高く当社の技術力を存分に発揮できる重点事業分野と、成長が続く新興国を中心とするグローバル展開に経営資源を集中投入し、売上、市場シェアの拡大に取り組んでおります。

当社グループの平成25年3月期第3四半期累計期間における連結売上高は、1兆6,112億円(前年同期比0.5%減(為替影響額を除いた前年同期比0.1%増))となりました。新商品の投入や新興国市場の成長に対応し拡販施策を強化したものの、欧州の景気低迷による需要減少や、為替の円高影響(97億円)などにより、前年同期比で73億円の減少となりました。

営業利益は、売上総利益の減少や、為替の円高影響(62億円)などを受け、前年同期比23.6%減の654億円となりました。

税金等調整前四半期純利益は、売上高の減少に伴う売上総利益の減少があったものの、投資有価証券評価損の減少や、前年同期と比べ対米ドルの為替が円安方向へ振れたことに伴い、為替差損益(純額)が損失から利益へ転じたことなどにより、628億円(前年同期比8.9%増)となりました。当社株主帰属四半期純利益は、288億円(前年同期比21.7%増)となりました。

当四半期累計期間の円為替レートは、対米ドルで80円、対ユーロで102円となりました。

【事業セグメント別の売上高】

(単位：億円)

セグメント	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期累計	平成 24 年 3 月期 第 3 四半期累計	増減額	増減率
イメージング ソリューション	2,225	2,488	△263	△10.6%
インフォメーション ソリューション	6,535	6,465	70	1.1%
ドキュメント ソリューション	7,352	7,232	120	1.6%
連結合計	16,112	16,185	△73	△0.5%

【事業セグメント別の営業利益（△損失）】

(単位：億円)

セグメント	平成 25 年 3 月期 第 3 四半期累計	平成 24 年 3 月期 第 3 四半期累計	増減額	増減率
イメージング ソリューション	△30	△38	8	-
インフォメーション ソリューション	415	498	△83	△16.6%
ドキュメント ソリューション	524	613	△89	△14.6%
全社費用及び セグメント間取引消去	△255	△217	△38	-
連結合計	654	856	△202	△23.6%

「イメージング ソリューション部門」

イメージング ソリューション部門の連結売上高は、カラーペーパーの販売が好調であったものの、為替の円高影響（33 億円）などにより、2,225 億円（前年同期比 10.6%減（為替影響額を除いた前年同期比 9.2%減））となりました。

当部門の営業損失は、フォトイメージング事業における値上げの効果などにより減少し、30 億円となりました。

フォトイメージング事業では、カラーペーパーや、平成 24 年 11 月に発売した「instax mini 8『チェキ』」をはじめとしたインスタントカメラなどの販売が好調に推移しましたが、為替の円高などの影響により、売上が減少しました。

電子映像事業では、平成 24 年 11 月に発売したレンズ交換式プレミアムカメラ「FUJIFILM X-E1」などの販売が好調に推移したものの、コンパクトカメラの総需の減少などの影響を受けて売上が減少しました。今後は独自技術を活かした高級機種「X シリーズ」や交換レンズのラインアップを拡充し、伸張するレンズ交換式カメラ市場での販売を強化していきます。

「インフォメーション ソリューション部門」

インフォメーション ソリューション部門の連結売上高は、為替の円高影響（33 億円）や、フラットパネルディスプレイ材料事業の売上減少などがあったものの、メディカルシステム事業や医薬品事業など成長事業の売上が拡大したことにより、6,535 億円（前年同期比 1.1%増（為替影響額を除いた前年同期比 1.6%増））となりました。

当部門の営業利益は、商品ミックスの変化や、為替の円高などの影響により、415 億円（前年同期比 16.6%減）となりました。

メディカルシステム事業では、ネットワークシステムの販売好調に加え、モダリティや内視鏡の機器販売が堅調に推移し、さらに買収した携帯型超音波診断装置メーカーである米国 SonoSite, Inc. の連結子会社化により、売上が大幅に増加しました。

モダリティ分野では、低価格・小型デジタルX線画像診断装置「FCR PRIMA」シリーズの販売が好調に推移しました。

内視鏡分野では、病院市場への高画質経鼻内視鏡の販売が好調に推移し、売上が増加しました。また、平成 24 年 9 月には早期がんなどの病変部の視認性向上を実現した、レーザー光源搭載の画期的な新世代内視鏡システム「LASEREO」を発売しました。

ネットワークシステム分野では、医用画像情報システム（PACS）を中心に診療情報分野への事業拡大を進めており、売上が増加しました。当社 PACS「SYNAPSE」は、国内約 1,800 の医療施設に導入されており、トップシェアを維持しています。

医薬品事業では、富山化学工業株式会社のβ-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤「ゾシン」や、ニューキノロン系経口抗菌剤「オゼックス細粒」の販売が好調だったこと、また、富士フイルムファーマ株式会社のバイエル薬品先発薬の販売などによる売上増加などにより、事業全体として売上が大幅に増加しました。

ライフサイエンス事業では、売上が前年同期並みとなりました。平成 24 年 9 月にリニューアルした機能性化粧品「アスタリフト」シリーズは、販促活動を積極的に展開したことなどにより、国内販売が好調に推移しました。今後はこの新「アスタリフト」、及び、平成 24 年 7 月に発売した 20～30 代女性向け新スキンケアシリーズ「ルナメア」などの新製品の拡販に努めていきます。

グラフィックシステム事業では、CTP プレートやデジタルプリンティング機器の販売は堅調に拡大しましたが、為替の円高などの影響により、売上が減少しました。今後も CTP プレートのシェア拡大とデジタルプリンティング機器の拡販に注力するとともに、新興国での拡販を強化していきます。

フラットパネルディスプレイ材料事業では、「VA用フィルム」や「IPS用フィルム」の販売が好調に推移したものの、「WVフィルム」がIT機器の需要低迷、及び、サプライチェーン内での在庫調整の影響を受けたことにより販売が減少し、事業全体としても売上が減少しました。需要が急拡大するタブレットPCやスマートフォン向けを中心にフィルムの薄膜化による製品ラインアップ拡充を図るとともに、大型液晶テレビ向けの超広幅フィルムの需要拡大に対応するため、平成25年1月に1ラインを稼働させており、平成25年3月期末までにさらに1ラインを稼働させる予定です。

産業機材事業では、工業用 X 線フィルムの販売が堅調に推移したものの、為替の円高などの影響を受け、売上が減少しました。今後は、太陽電池用高耐候 PET フィルムや、平成 24 年 11 月より出荷を開始した透明導電フィルム「エクスクリア」など、成長が見込まれる環境・エネルギー分野とタッチパネル分野での売上拡大を目指していきます。

電子材料事業では、ArF液浸レジスト、CMPスラリー、イメージセンサー用カラーモザイクなど先端製品の販売が好調に推移し、売上が大幅に増加しました。

光学デバイス事業では、携帯電話用カメラレンズの販売が減少したことなどにより売上が減少しました。今後はスマートフォン用薄型カメラモジュールを中心に新領域への事業拡大を推進していきます。

記録メディア事業では、為替の円高影響や、業務用ビデオの販売が総需減などの影響を受けて減少したことにより、売上が減少しました。

「ドキュメント ソリューション部門」

ドキュメントソリューション部門の連結売上高は、欧州の景気低迷による米国ゼロックス社向け輸出売上の減少や、為替の円高影響（31 億円）などがあったものの、平成 24 年 10 月に買収し連結子会社化した、豪州 Salmat Limited のビジネスプロセスアウトソーシング事業を含めたアジア・オセアニア地域での売上増や、国内販売の堅調な推移などにより、7,352 億円（前年同期比 1.6%増（為替影響額を除いた前年同期比 2.1%増））となりました。

営業利益は、商品ミックスの変化などの影響を受けた販売単価の下落などによる売上総利益の減少に対して、研究開発費や、販売費及び一般管理費の効率化によって挽回を図ったものの、524 億円（前年同期比 14.6%減）となりました。

オフィスプロダクト事業は、国内においては、フルカラーデジタル複合機「ApeosPort-IV / DocuCentre-IV シリーズ」の販売が引き続き好調に推移するとともに、大型商談の成約による大量設置もあり、カラー機、モノクロ機ともに販売台数が増加しました。一方、消耗品および保守サービス売上は、市場における稼働台数の増加、及び、1 台あたりコピー枚数の増加はあったものの、コピー1 枚あたりの単価下落の影響により微減となりました。アジア・オセアニア地域においては、平成 24 年 6 月に発売したモノクロデジタル複合機「DocuCentre S2010 / S1810」の販売が好調に推移し、モ

モノクロ機の販売台数が大幅に増加するとともに、カラー機の販売台数も増加しました。米国ゼロックス社向け輸出においては、モノクロ機の出荷台数が大幅に伸び、全体の販売台数が増加しました。

オフィスプリンター事業は、アジア・オセアニア地域においては、モノクロ機、カラー機ともに販売台数が増加しました。米国ゼロックス社向け輸出においては、低速機の出荷が伸長し、出荷台数が大幅に増加しました。一方、国内においては、モノクロ機、カラー機ともに販売台数が減少しました。

プロダクションサービス事業は、国内においては、平成24年4月に発売した基幹業務系ネットワークプリンター「D125 Printer / D110 Printer」の販売が好調に推移したものの、前年同期に基幹業務向け中・小型プリンターの大型設置があったことなどにより、全体では販売台数が減少しました。また、米国ゼロックス社向け輸出においても、全体で出荷台数が減少しました。一方、アジア・オセアニア地域においては、カラー・オンデマンド・パブリッシング・システム「Color 1000 Press / Color 800 Press」の販売が好調に推移し、販売台数全体でも増加しました。

グローバルサービス事業は、国内、アジア・オセアニア地域ともに2桁成長の増収となりました。これには、平成24年10月に買収した豪州最大のビジネスサービスプロバイダーSalmat Limitedのビジネスプロセスアウトソーシング事業を、Fuji Xerox Document Management Solutions Pty. Limitedとして連結子会社化したことによる売上増加も寄与しています。今後は同社が培ってきたサービスプロバイダーとしてのノウハウと、富士ゼロックスが持つマーケティング力を融合することで、アジア・オセアニア地域におけるソリューションサービスビジネスを強力に展開していきます。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

平成25年3月期第3四半期末は、現金及び現金同等物の増加、及び、企業買収に伴う営業権及びその他の無形固定資産の増加などにより、前期末(平成24年3月31日)に比べ、資産合計が2,430億円増の2兆9,827億円(前期末比8.9%増)となりました。社債及び長期借入金が増加したことなどにより、負債は1,648億円増の1兆480億円(前期末比18.7%増)となりました。株主資本は664億円増の1兆7,882億円(前期末比3.9%増)となりました。この結果、流動比率は前期末に比べ52.4ポイント増の243.3%、負債比率は7.3ポイント増の58.6%、株主資本比率は2.8ポイント減の60.0%となり、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

【キャッシュ・フローの状況】

(単位：億円)

	平成25年3月期 第3四半期累計	平成24年3月期 第3四半期累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,190	691	499
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,251	△871	△380
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,907	△341	2,248

平成25年3月期第3四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の減少などにより、1,190億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴う有形固定資産の購入や事業買収に伴う支出などにより、1,251億円の支出となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、61億円のマイナスとなりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期債務による資金調達などにより、1,907億円の収入となりました。

現金及び現金同等物の平成25年3月期第3四半期末残高は、前期末(平成24年3月31日)に比べ1,928億円増加し、4,279億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

(平成 25 年 3 月期 通期連結業績予想値の修正)

	売上高	営業利益	税金等調整前 当期純利益	当社株主帰属 当期純利益	1株当たり 当社株主帰属 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 24 年 10 月 31 日発表)	百万円 2, 210, 000	百万円 125, 000	百万円 105, 000	百万円 45, 000	円 銭 93 42
今回修正予想(B)	2, 210, 000	110, 000	110, 000	50, 000	103 80
増減額(B-A)	-	△15, 000	5, 000	5, 000	10 38
増減率 (%)	-	△12. 0	4. 8	11. 1	11. 1
(参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	2, 195, 293	112, 948	89, 187	43, 758	90 84

当社を取り巻く事業環境は、欧州で景気低迷が続いており、中国をはじめとする新興国地域でも経済成長の鈍化が見られます。日本においても、海外経済の減速を受けて景気は弱含みで推移しており、当社においては、主要事業の環境が想定以上に厳しいものとなっております。

これらの状況を踏まえ、平成 25 年 3 月期の通期連結業績予想について、営業利益を下方修正いたします。また、税金等調整前当期純利益、当社株主帰属当期純利益、1 株当たり当社株主帰属当期純利益については、平成 25 年 3 月期第 3 四半期において為替が円安傾向になり、営業外損益の為替差益が生じたことなどにより、上方修正いたします。なお、売上高については、事業環境の悪化を為替の円安影響でカバーできると見込めるため、前回予想を据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

平成 23 年 6 月に、米国財務会計基準審議会は、会計基準アップデート 2011-05「包括利益の表示」を発行しました。会計基準アップデート 2011-05 は、基準書 220 を改訂し、純損益の各内訳項目及びその他の包括利益の各内訳項目を 1 計算書方式または 2 計算書方式のいずれかで表示することを要求し、その他の包括利益を連結資本勘定計算書内で表示する選択肢を削除しております。平成 23 年 12 月に、米国財務会計基準審議会は、会計基準アップデート 2011-12「会計基準アップデート 2011-05 におけるその他の包括利益累積額の各内訳項目の再分類の表示に対する改訂の適用日の延期」を発行しました。会計基準アップデート 2011-12 は、会計基準アップデート 2011-05 で要求されているその他の包括利益累積額から当期純利益へ再分類修正した項目を財務諸表へ表示する規定の適用時期を延期しております。会計基準アップデート 2011-05 及び会計基準アップデート 2011-12 による基準書 220 の改訂は、平成 23 年 12 月 15 日より後に始まる連結会計年度（期中会計期間を含む）から遡及的に適用され、当社においては、平成 24 年 4 月 1 日より始まる第 1 四半期連結会計期間から適用し、2 計算書方式で表示しております。会計基準アップデート 2011-05 及び会計基準アップデート 2011-12 による基準書 220 の修正が当社の経営成績及び財政状態に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第3四半期 連結会計期末 平成24年12月31日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成24年3月31日現在	増減 (△は減少)
[資産の部]				
流動資産				
現金及び現金同等物		427,859	235,104	192,755
有価証券		8,488	12,364	△ 3,876
受取債権				
営業債権及びリース債権		524,371	541,988	△ 17,617
関連会社等に対する債権		32,481	32,102	379
貸倒引当金		△ 19,520	△ 17,607	△ 1,913
		537,332	556,483	△ 19,151
棚卸資産		413,337	377,952	35,385
前払費用及びその他の流動資産		159,723	140,088	19,635
流動資産 合計		1,546,739	1,321,991	224,748
投資及び長期債権				
関連会社等に対する投資及び貸付金		39,186	35,614	3,572
投資有価証券		109,730	118,954	△ 9,224
長期リース債権及びその他の長期債権		137,764	128,493	9,271
貸倒引当金		△ 3,524	△ 3,221	△ 303
投資及び長期債権 合計		283,156	279,840	3,316
有形固定資産				
土地		95,044	94,730	314
建物及び構築物		677,071	666,724	10,347
機械装置及びその他の有形固定資産		1,624,718	1,557,424	67,294
建設仮勘定		20,031	41,030	△ 20,999
		2,416,864	2,359,908	56,956
減価償却累計額		△ 1,874,586	△ 1,805,992	△ 68,594
有形固定資産 合計		542,278	553,916	△ 11,638
その他の資産				
営業権		399,665	393,541	6,124
その他の無形固定資産		88,725	43,900	44,825
その他		122,121	146,477	△ 24,356
その他の資産 合計		610,511	583,918	26,593
資産 合計		2,982,684	2,739,665	243,019

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第3四半期 連結会計期間末 平成24年12月31日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成24年3月31日現在	増減 (△は減少)
[負債の部]				
流動負債				
社債及び短期借入金		171,970	178,536	△ 6,566
支払債務				
営業債務		209,792	228,383	△ 18,591
設備関係債務		17,289	26,729	△ 9,440
関連会社等に対する債務		3,081	3,292	△ 211
		230,162	258,404	△ 28,242
未払法人税等		10,230	12,864	△ 2,634
未払費用		154,783	178,618	△ 23,835
その他の流動負債		68,597	63,945	4,652
流動負債 合計		635,742	692,367	△ 56,625
固定負債				
社債及び長期借入金		246,357	20,334	226,023
退職給付引当金		73,609	85,116	△ 11,507
預り保証金及びその他の固定負債		92,257	85,364	6,893
固定負債 合計		412,223	190,814	221,409
負債 合計		1,047,965	883,181	164,784
[純資産の部]				
株主資本				
資本金		40,363	40,363	-
普通株式				
発行可能株式総数 800,000,000株				
発行済株式総数 514,625,728株				
資本剰余金		75,287	74,780	507
利益剰余金		1,963,771	1,944,557	19,214
その他の包括利益(△損失)累積額		△ 188,720	△ 235,400	46,680
自己株式		△ 102,510	△ 102,531	21
株主資本 合計		1,788,191	1,721,769	66,422
非支配持分		146,528	134,715	11,813
純資産 合計		1,934,719	1,856,484	78,235
負債・純資産 合計		2,982,684	2,739,665	243,019

(注)その他の包括利益(△損失)累積額 内訳

	平成24年12月31日現在	平成24年3月31日現在	増減 (△は減少)
有価証券未実現損益	11,106	9,869	1,237
為替換算調整額	△ 103,516	△ 145,845	42,329
年金負債調整額	△ 96,665	△ 99,470	2,805
デリバティブ未実現損益	355	46	309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

【第3四半期連結累計期間】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第3四半期 連結累計期間		平成24年3月期第3四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日		自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日		増減額	増減率
売上高		%		%			%
売上高		1,354,972		1,366,009	△ 11,037		△ 0.8
レンタル収入		256,200		252,504	3,696		1.5
		100.0	1,611,172	100.0	1,618,513	△ 7,341	△ 0.5
売上原価							
売上原価		876,928		866,797	10,131		1.2
レンタル原価		111,049		113,150	△ 2,101		△ 1.9
		61.3	987,977	60.5	979,947	8,030	0.8
売上総利益		38.7	623,195	39.5	638,566	△ 15,371	△ 2.4
営業費用							
販売費及び一般管理費		27.0	434,672	26.4	426,923	7,749	1.8
研究開発費		7.6	123,145	7.8	126,077	△ 2,932	△ 2.3
		34.6	557,817	34.2	553,000	4,817	0.9
営業利益		4.1	65,378	5.3	85,566	△ 20,188	△ 23.6
営業外収益及び費用(△)							
受取利息及び配当金		3,733		4,305	△ 572		
支払利息		△ 2,920		△ 2,821	△ 99		
為替差損益・純額		1,406		△ 10,736	12,142		
投資有価証券評価損		△ 5,453		△ 17,789	12,336		
その他損益・純額		685		△ 840	1,525		
		△ 0.2	△ 2,549	△ 1.7	△ 27,881	25,332	-
税金等調整前四半期純利益		3.9	62,829	3.6	57,685	5,144	8.9
法人税等		1.2	19,305	1.5	24,420	△ 5,115	△ 20.9
持分法による投資損益		△ 0.2	△ 2,951	0.0	476	△ 3,427	-
四半期純利益		2.5	40,573	2.1	33,741	6,832	20.2
控除:非支配持分帰属損益		△ 0.7	△ 11,725	△ 0.6	△ 10,045	△ 1,680	-
当社株主帰属四半期純利益		1.8	28,848	1.5	23,696	5,152	21.7

【第3四半期連結会計期間(3ヶ月)】

単位 百万円

科目	期別		期別		増減 (△は減少)	
	平成25年3月期第3四半期 連結会計期間 自 平成24年10月 1日 至 平成24年12月31日		平成24年3月期第3四半期 連結会計期間 自 平成23年10月 1日 至 平成23年12月31日		増減額	増減率
売上高	%		%			%
売上高		464,680		451,252	13,428	3.0
レンタル収入		84,882		83,829	1,053	1.3
	100.0	549,562	100.0	535,081	14,481	2.7
売上原価						
売上原価		301,207		286,982	14,225	5.0
レンタル原価		38,787		37,399	1,388	3.7
	61.9	339,994	60.6	324,381	15,613	4.8
売上総利益	38.1	209,568	39.4	210,700	△ 1,132	△ 0.5
営業費用						
販売費及び一般管理費	26.4	145,174	26.4	141,386	3,788	2.7
研究開発費	7.5	41,301	8.0	42,791	△ 1,490	△ 3.5
	33.9	186,475	34.4	184,177	2,298	1.2
営業利益	4.2	23,093	5.0	26,523	△ 3,430	△ 12.9
営業外収益及び費用(△)						
受取利息及び配当金		1,411		1,604	△ 193	
支払利息		△ 1,067		△ 1,215	148	
為替差損益・純額		10,941		1,140	9,801	
投資有価証券評価損		△ 4,266		△ 2,758	△ 1,508	
その他損益・純額		△ 265		△ 352	87	
	1.2	6,754	△ 0.3	△ 1,581	8,335	-
税金等調整前四半期純利益	5.4	29,847	4.7	24,942	4,905	19.7
法人税等	1.3	7,401	2.4	12,673	△ 5,272	△ 41.6
持分法による投資損益	0.1	665	△ 0.0	△ 16	681	-
四半期純利益	4.2	23,111	2.3	12,253	10,858	88.6
控除:非支配持分帰属損益	△ 0.9	△ 4,737	△ 0.7	△ 3,455	△ 1,282	-
当社株主帰属四半期純利益	3.3	18,374	1.6	8,798	9,576	108.8

(四半期連結包括利益計算書)

【第3四半期連結累計期間】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第3四半期	平成24年3月期第3四半期	増減 (△は減少)
		連結累計期間 自 平成24年4月 1日 至 平成24年12月31日	連結累計期間 自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日	
四半期純利益		40,573	33,741	6,832
その他の包括利益(△損失) - 税効果調整後				
有価証券未実現損益変動額		1,212	△ 1,646	2,858
為替換算調整額		46,379	△ 45,852	92,231
年金負債調整額		3,279	2,102	1,177
デリバティブ未実現損益変動額		339	△ 65	404
その他の包括利益(△損失)合計		51,209	△ 45,461	96,670
四半期包括利益(△損失)		91,782	△ 11,720	103,502
控除:非支配持分帰属四半期包括損益		△ 16,254	△ 7,269	△ 8,985
当社株主帰属四半期包括利益(△損失)		75,528	△ 18,989	94,517

【第3四半期連結会計期間(3ヶ月)】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第3四半期	平成24年3月期第3四半期	増減 (△は減少)
		連結会計期間 自 平成24年10月 1日 至 平成24年12月31日	連結会計期間 自 平成23年10月 1日 至 平成23年12月31日	
四半期純利益		23,111	12,253	10,858
その他の包括利益(△損失) - 税効果調整後				
有価証券未実現損益変動額		9,262	△ 899	10,161
為替換算調整額		75,696	4,329	71,367
年金負債調整額		1,107	1,121	△ 14
デリバティブ未実現損益変動額		215	25	190
その他の包括利益(△損失)合計		86,280	4,576	81,704
四半期包括利益		109,391	16,829	92,562
控除:非支配持分帰属四半期包括損益		△ 11,423	△ 4,514	△ 6,909
当社株主帰属四半期包括利益		97,968	12,315	85,653

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第3四半期 連結累計期間	平成24年3月期第3四半期 連結累計期間	増減 (△は減少)
		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 四半期純利益		40,573	33,741	6,832
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整				
(1) 減価償却費		102,617	107,907	△ 5,290
(2) 投資有価証券評価損		5,453	17,789	△ 12,336
(3) 持分法による投資損益(受取配当金控除後)		3,731	545	3,186
(4) 資産及び負債の増減				
受取債権の増加(△)・減少		38,525	△ 15,985	54,510
棚卸資産の増加		△ 17,849	△ 38,370	20,521
営業債務の減少		△ 30,830	△ 18,272	△ 12,558
未払法人税等及びその他負債の減少		△ 30,692	△ 25,227	△ 5,465
(5) その他		7,432	7,001	431
小計		78,387	35,388	42,999
営業活動によるキャッシュ・フロー		118,960	69,129	49,831
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の購入		△ 66,914	△ 74,236	7,322
2. ソフトウェアの購入		△ 13,236	△ 14,251	1,015
3. 有価証券・投資有価証券等の売却・満期償還		10,777	33,705	△ 22,928
4. 有価証券・投資有価証券等の購入		△ 1,248	△ 11,484	10,236
5. 関係会社投融資及びその他貸付金の増加(△)・減少		△ 6,496	119	△ 6,615
6. 事業買収に伴う支出 (買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)		△ 30,664	△ 1,850	△ 28,814
7. その他		△ 17,301	△ 19,094	1,793
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 125,082	△ 87,091	△ 37,991
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 長期債務による調達額		230,649	6,860	223,789
2. 長期債務の返済額		△ 16,214	△ 19,267	3,053
3. 短期債務の減少(純額)		△ 1,180	△ 3,092	1,912
4. 親会社による配当金支払額		△ 18,064	△ 15,655	△ 2,409
5. 非支配持分への配当金支払額		△ 4,436	△ 4,620	184
6. 自己株式の取得(純額)		△ 3	△ 4	1
7. その他		△ 26	1,710	△ 1,736
財務活動によるキャッシュ・フロー		190,726	△ 34,068	224,794
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響		8,151	△ 12,571	20,722
V. 現金及び現金同等物純増加・純減少(△)		192,755	△ 64,601	257,356
VI. 現金及び現金同等物期首残高		235,104	313,070	△ 77,966
VII. 現金及び現金同等物四半期末残高		427,859	248,469	179,390

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1) 第3四半期連結累計期間

① 事業別セグメント情報

【売上高】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第3四半期 連結累計期間		平成24年3月期第3四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日		自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
イメージング ソリューション :							
外部顧客に対するもの		13.8	222,505	15.4	248,762	△ 26,257	△ 10.6
セグメント間取引			553		529	24	-
計			223,058		249,291	△ 26,233	△ 10.5
インフォメーション ソリューション :							
外部顧客に対するもの		40.6	653,516	39.9	646,512	7,004	1.1
セグメント間取引			1,380		1,247	133	-
計			654,896		647,759	7,137	1.1
ドキュメント ソリューション :							
外部顧客に対するもの		45.6	735,151	44.7	723,239	11,912	1.6
セグメント間取引			7,897		6,665	1,232	-
計			743,048		729,904	13,144	1.8
セグメント間取引消去			△ 9,830		△ 8,441	△ 1,389	-
連結 合計		100.0	1,611,172	100.0	1,618,513	△ 7,341	△ 0.5

【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第3四半期 連結累計期間		平成24年3月期第3四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日		自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日		増減額	増減率
営業利益(△損失) :		%		%			%
イメージング ソリューション		△ 1.3	△ 3,003	△ 1.5	△ 3,825	822	-
インフォメーション ソリューション		6.3	41,535	7.7	49,826	△ 8,291	△ 16.6
ドキュメント ソリューション		7.1	52,396	8.4	61,330	△ 8,934	△ 14.6
計			90,928		107,331	△ 16,403	△ 15.3
全社費用及びセグメント間取引消去			△ 25,550		△ 21,765	△ 3,785	-
連結 合計		4.1	65,378	5.3	85,566	△ 20,188	△ 23.6

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

イメージング ソリューション : カラーフィルム、デジタルカメラ、フォトフィニッシング機器、写真プリント用カラーペーパー・薬品・サービス等

インフォメーション ソリューション : メディカルシステム機材、ライフサイエンス製品、医薬品、グラフィックシステム機材、フラットパネルディスプレイ材料、記録メディア、光学デバイス、電子材料

ドキュメント ソリューション : オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、オフィスサービス、用紙、消耗品等

②所在地別セグメント情報

【売上高】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第3四半期 連結累計期間		平成24年3月期第3四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日		自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
日本							
外部顧客に対するもの		57.4	924,961	58.6	948,486	△ 23,525	△ 2.5
セグメント間取引			276,159		304,036	△ 27,877	-
計			1,201,120		1,252,522	△ 51,402	△ 4.1
米州							
外部顧客に対するもの		15.1	242,934	14.9	240,875	2,059	0.9
セグメント間取引			24,838		18,514	6,324	-
計			267,772		259,389	8,383	3.2
欧州							
外部顧客に対するもの		9.3	149,777	9.7	156,682	△ 6,905	△ 4.4
セグメント間取引			11,659		11,084	575	-
計			161,436		167,766	△ 6,330	△ 3.8
アジア及びその他							
外部顧客に対するもの		18.2	293,500	16.8	272,470	21,030	7.7
セグメント間取引			201,737		196,755	4,982	-
計			495,237		469,225	26,012	5.5
セグメント間取引消去			△ 514,393		△ 530,389	15,996	-
連結 合計		100.0	1,611,172	100.0	1,618,513	△ 7,341	△ 0.5

【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第3四半期 連結累計期間		平成24年3月期第3四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日		自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日		増減額	増減率
営業利益(△損失) :		%		%			%
日本		3.1	37,827	4.7	59,423	△ 21,596	△ 36.3
米州		2.6	6,914	2.4	6,102	812	13.3
欧州		0.3	423	△ 0.7	△ 1,100	1,523	-
アジア及びその他		3.7	18,555	4.4	20,873	△ 2,318	△ 11.1
セグメント間取引消去			1,659		268	1,391	-
連結 合計		4.1	65,378	5.3	85,566	△ 20,188	△ 23.6

【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第3四半期 連結累計期間		平成24年3月期第3四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日		自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
国内		45.0	725,542	45.1	729,668	△ 4,126	△ 0.6
海外							
米州		18.0	289,460	17.1	276,686	12,774	4.6
欧州		11.5	186,041	12.3	199,893	△ 13,852	△ 6.9
アジア及びその他		25.5	410,129	25.5	412,266	△ 2,137	△ 0.5
計		55.0	885,630	54.9	888,845	△ 3,215	△ 0.4
連結 合計		100.0	1,611,172	100.0	1,618,513	△ 7,341	△ 0.5

(注)【海外売上高(仕向地ベース)】は、取引先の所在地により区分し、表示しております。

2) 第3四半期連結会計期間(3ヶ月)

【事業セグメント別売上高】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第3四半期 連結会計期間		平成24年3月期第3四半期 連結会計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成24年10月 1日 至 平成24年12月31日		自 平成23年10月 1日 至 平成23年12月31日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
イメージングソリューション :		14.5	79,907	16.2	86,367	△ 6,460	△ 7.5
インフォメーションソリューション :		40.9	224,641	39.5	211,553	13,088	6.2
ドキュメントソリューション :		44.6	245,014	44.3	237,161	7,853	3.3
連結 合計		100.0	549,562	100.0	535,081	14,481	2.7

(注)各区分に属する主要な製品の名称

イメージングソリューション : カラーフィルム、デジタルカメラ、フォトフィニッシング機器、写真プリント用カラーペーパー・薬品・サービス等

インフォメーションソリューション : メディカルシステム機材、ライフサイエンス製品、医薬品、グラフィックシステム機材、フラットパネルディスプレイ材料、記録メディア、光学デバイス、電子材料

ドキュメントソリューション : オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、オフィスサービス、用紙、消耗品等

【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第3四半期 連結会計期間		平成24年3月期第3四半期 連結会計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成24年10月 1日 至 平成24年12月31日		自 平成23年10月 1日 至 平成23年12月31日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
国内		44.5	244,101	45.3	242,340	1,761	0.7
海外							
米州		17.8	97,490	17.5	93,392	4,098	4.4
欧州		11.8	65,572	12.4	66,378	△ 806	△ 1.2
アジア及びその他		25.9	142,399	24.8	132,971	9,428	7.1
計		55.5	305,461	54.7	292,741	12,720	4.3
連結 合計		100.0	549,562	100.0	535,081	14,481	2.7

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。